

Cyoda City Photo Studio 写真館



「のぼうの城」一色に染まった行田

3月18日、「のぼうの城フェスティバルin行田」が開催され、戦国武将隊によるイベントや映画「のぼうの城」トークショー、せんべい焼き体験や甲冑の着付け体験など、さまざまな催しが行われました。

戦国武将隊のイベントでは、宮城県仙台市の奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊、新潟県上越市の越後上越上杉おもてなし武将隊、愛知県のあいち戦国姫隊が参加。全国でも有名な武将隊が迫力のある演舞を披露しました。

伊達武将隊の演舞では、同武将隊の「くのー」が「地元仙台・宮城に元気を！」と考えた「くのーにここに体操」を披露。来場者全員で楽しく体操を行い、会場は大いに盛り上がりました。

また、映画「のぼうの城」トークショーでは、歴史小説「のぼうの城」の原作者であり、映画を脚本した和田竜さんとプロデューサーの久保田修さんを迎え、映画制作の裏話や「のぼう様」役に野村萬斎さんを起用した理由などを話していました。

会場でしか聞くことができない秘話に興味津々の参加者は、映画「のぼうの城」の公開を今から楽しみにしているようでした。



春の訪れを待つ行田をポタリングで満喫

3月11日、ポタガール埼玉のメンバーらによる「女子ポタ会in行田」が行われました。

ポタリングとは、自転車で気楽に観光名所などを巡ること。埼玉県では本格的な自転車シーズンの到来に合わせ、「LOVE bicycle SAITAMA スプリングキャンペーン」を開始しています。忍城址やさきたま古墳公園などの名所を訪れ、B級ご当地グルメの「フライ」や「ゼリーフライ」を満喫するこの企画に、「ポタガール埼玉」の新メンバー6人とL b Sサポートガールズのメンバー2人が参加。約30kmの距離を自転車で走り抜けた参加者は、行田の魅力を肌で感じているようでした。



危機管理体制のさらなる強化へ

2月27日、市役所会議室で、市、市消防本部および行田警察署の合同災害図上訓練が行われました。

この訓練は、震度6弱の地震が発生したことを想定し、被災状況の確認および報告、負傷者の救護や避難誘導など、各機関が迅速かつ的確な災害対策が取れるよう行うもの。緊迫した空気の中、お互いの情報を共有し連携の取れた訓練を行うことで、危機管理体制のさらなる強化を図りました。

自分を信じて

3月3日、中央公民館(「みらい」内)で第2回行田市少年少女囲碁大会が開催されました。

この大会は、日本の伝統文化である囲碁を通じて、子供たちの思考力や集中力を養い、礼儀やマナーを育成することを目的としたもの。競技が始まるとそれまでの和やかなムードが一変し、81人の棋士たちは、真剣な表情で次々と自分が信じる一手を打っていました。



ごみや環境問題を考える

2月18日、「みらい」文化ホールで「第17回ごみ問題を考えるつどい」が行われました。

ごみや環境問題に関心を持ってもらおうと、行田市衛生協会連合会が毎年開催しているもので、埼玉県環境アドバイザーの岩田京子さんを講師に迎え「ごみに埋もれた私たちの暮らしから」と題した講演が行われました。

普段何げなく使っている日用品が環境に悪影響を与えていることなど、事例を交えた分かりやすい説明に、参加者は環境に配慮した暮らしをあらためて考えていました。



寄席で心温まるひとときを

2月19日、忠次郎蔵で、NPO法人忠次郎蔵主催による「忠次郎寄席」が行われました。

行田市出身の落語家、春風亭柳太さんの落語に引き込まれた会場は、常に笑いに包まれていました。柳太さんからプレゼントされた手ぬぐいを景品にしたじゃんけん大会や、質問コーナーも行われ、落語家と身近に触れ合えるこの寄席に、観客からは定期的な開催を願う声も上がるなど、心温まるひとときを過ごしていました。



おいしい新商品が登場!

3月8日、男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」で「夢チャレンジ事業」商品開発発表会が開催され、行田在来青大豆(えだまめ)を使った新商品が発表されました。

この事業は、商業団体などが新商品を開発し、地域商業を活性化させることを目的とした埼玉県の補助事業で、NPO法人行田観光物産会の皆さんが新商品を開発しました。

この日は、行田在来青大豆を使ったどらやきやゼリーフライ、アイスなど8商品が発表され、試食会も行われました。どの商品もとってもおいしく、今後、行田を代表する特産品になることが期待されます。

